

◆参加報告◆

はじめて参加した研修会

伊勢 雄一郎

2019年7月26日・27日に開催された「第26回 日赤図書室協議会研修会」に初めて参加しました。この4月に図書担当となり、わからない事ばかりの状態でしたが、業務に対してのモチベーションを高めようとの思いで参加しました。

初日は日本赤十字看護大学と北里大学白金キャンパスの図書館を見学しましたが、手狭な当院の図書室と比べると、あまりに広く快適な設備、また先進的な調度品などもあり、驚くことばかりでした。

どちらも学生さんが主に利用する施設ですが、空間の快適さに勉学もさぞ進むことだろうと思いました。手作りの「図書館だより」などは、利用促進を図っていきたい当院図書室において参考になるものでした。

北里大学では東洋医学研究所、北里柴三郎記念館の見学もしましたが、どちらも学芸員さんによる丁寧な説明をいただきました。この他に3社によるコンソーシアム提案説明があり、短い時間の中熱心な説明をいただけたと思います。

2日目はまず午前中に協議会の総会がありました。私は初めての参加だったのですが、

ISE Yuichiro
福井赤十字病院 医療情報課
TEL: 0776-36-3630(代) FAX: 0776-36-4133
tosyo@fukui-med.jrc.or.jp

それまで郵便やメールでしか関わりが無かった全国の図書担当の方々と直接お会いできただことがとても嬉しかったです。

午後からは4人の講師をお招きしての公開講座が行われました。実務に沿って、より掘り下げた内容で各講師熱心に講演されていました。自分にとっても「なるほど」と思える部分も多々ありましたが、同時に自分の理解の浅さ、知識の未熟さも実感するよい機会になりました。

2日間を通して感じたのは、どの方々も非常に強い熱意を持って業務にあたっておられるのだな、ということです。

昨年度まで私は院内で会計の仕事をしており、患者さんと接する機会が多かったのですが、図書に異動になったことにより仕事に対するモチベーションを見失いかけていた節がありました。しかし、研修会や見学会に参加することにより、まだまだ学ぶことも多く、そしてもっと「思い」を持って業務に向き合っていくことが出来るのではないかという気持ちが強くなりました。

まだまだ未熟ではありますが、これからも図書スタッフとして、医師・看護師の役に立てるよう、そして図書室に足を運んでもらえるよう頑張っていきたいと思っています。また皆様のお力を借りることになると思いますが、よろしくお願い致します。